

だれもが安心して住み続けられる、  
ぬくもりのある福祉の地域づくり

2023年

9月号

No.237

那珂川市

# 社協

Nakagawa Social Council

# だより

## もくじ

- P1 ボランティアフェスタなかがわ 2023 開催のご案内
- P2 赤い羽根共同募金運動のご案内
- P4 生活支援体制整備事業のご案内
- P5 活動者 インタビュー
- P6 見守り活動について
- P7 手話奉仕員養成講座入門編のご案内
- P8 街中で見かけたことはありませんか？
- P9 地域包括支援センターのご案内
- P10 ご寄付のお礼、7月・8月の心配ごと相談
- P10 福岡県令和5年7月豪雨災害義援金のご案内
- P10 介護保険・障がい福祉サービス事業所のご案内
- P11 第19回 地域福祉を考えるつどい
- P11 笑って健康づくり
- P11 福祉センター「にここ」からのお知らせ
- P12 那珂川市災害ボランティアセンターのご案内

# ボランティアフェスタなかがわ 2023 開催!

## 「ボランティアフェスタ 通称 ボラフェス なかがわ」とは

市民のみなさんにボランティアフェスタでの出会いや楽しい体験を通して、ボランティア活動を知っていただくとともに、活動者同士のつながりを広げていくことを目的として開催しています。市内で活動するNPO・ボランティア団体や福祉団体が中心となって実行委員会を結成し、みんなで意見を出し合いながら自分たちで作り上げているイベントです。

6月から毎月実行委員会を実施し、市民のみなさん、ボランティアのみなさんが楽しめるイベントになるよう話し合っています。お楽しみに!

体験コーナーや販売コーナー  
など楽しみいっぱい♪



遊びに  
きてね



**日時** 11月4日(土)  
10:30~14:00

**場所** ● 那珂川市福祉センター  
● 勤労青少年ホーム  
● 那珂川市ボランティア  
支援センターくるりんポ

**内容** NPO・ボランティア活動の  
体験、紹介、福祉施設の  
手作り品の販売など

**主催** ボランティアフェスタ  
なかがわ2023実行委員会

**後援** ● 那珂川市  
● 那珂川市教育委員会  
● 那珂川市社会福祉協議会  
● 那珂川市民生委員児童委員連合協議会  
● 那珂川市区長会  
● 那珂川市区公民館連絡協議会

発行

社会福祉法人 **那珂川市社会福祉協議会**

〒811-1242 福岡県那珂川市西隈1丁目1-2 那珂川市福祉センター

TEL (092) 952-4565 FAX (092) 952-7321

Mail n-shakyo@dream.ocn.ne.jp

社協が取り組む事業・活動についての詳細は  
ホームページ等でもご紹介しています。

ホームページアドレス  
<http://www.nakagawa-shakyo.jp>

なかがわ社協 検索

ホームページ インスタグラム YouTube



社協だよりは一部赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。(赤い羽根は共同募金運動・配分事業のシンボルマークです。)

じぶんの町を良くするしくみ。

# 赤い羽根共同募金

【運動期間】

10月1日～12月31日

## 赤い羽根共同募金って？

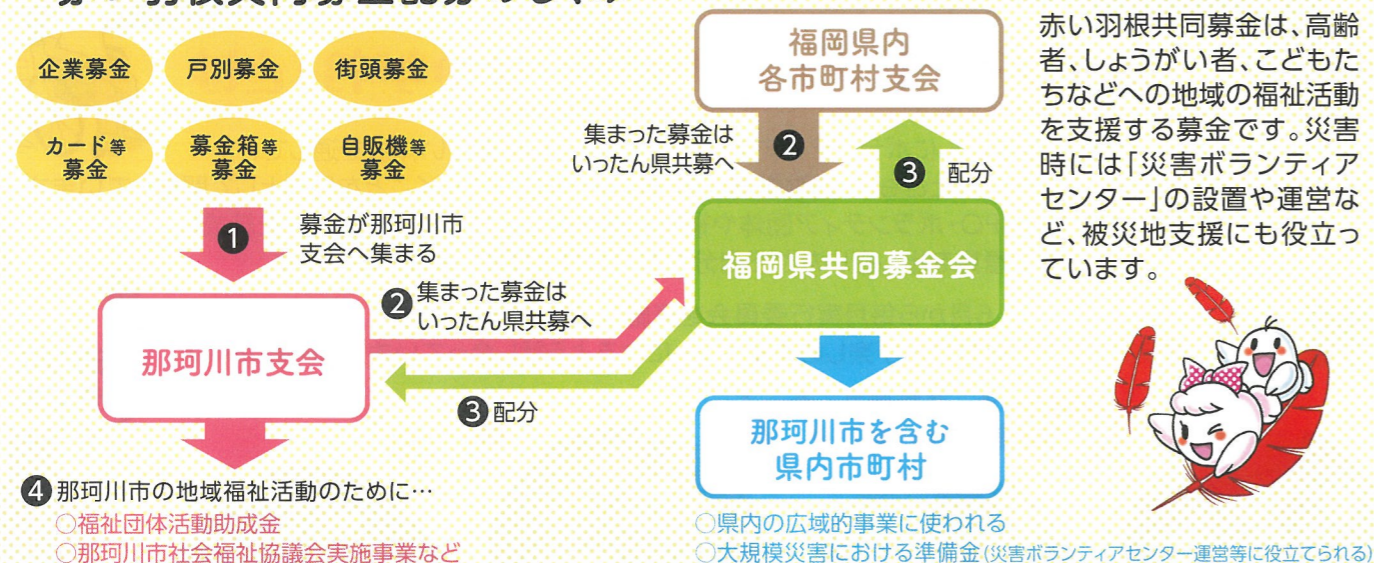
赤い羽根共同募金は、昭和22(1947)年に戦後の「国民たすけあい運動」として始まり、戦争で、家や家族を失った子ども達や、社会福祉施設復興のための支援を行ってきました。那珂川市でも平成元年より高齢者の給食・入浴サービス、福祉体験などの地域活動のために赤い羽根共同募金を役立ててきました。現在では、「じぶんの町を良くするしくみ。」として、民間の社会福祉事業や助けを必要とする人達のために活動をする団体の支援のために活用されています。



### どうして赤い羽根なの？

赤い羽根は、勇気と、良い行いのシンボルだからです。アメリカの先住民は、いろいろな色の羽根かざりを頭などにつけていました。羽根には色によって意味があり、勇気のある行動や、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われていました。

### ～赤い羽根共同募金配分のしくみ～



## 1 助成団体紹介

- 民生委員児童委員連合協議会
- シニアクラブ連合会
- こどもの発達を考える親の会 のぞみ
- ひとり親家庭福祉会
- 婦人会
- 『キャンパス』
- 点字の会
- 手話の会
- 食生活改善推進会
- ボランティア連絡協議会～ぼられん～
- 身体障害者福祉協会
- 保護司会那珂川支部
- 土筆会(音声訳の会)
- 託児ボランティアかるがも
- 少年補導員

## 2 社協事業

地域のふれあいサロンや子育てサロン、見守り活動や福祉講座等の活動に財源が役立てられています。

## 3 災害支援、広域事業

福祉施設の車輛整備や児童福祉施設で生活する子どもたちの進学、就職支援などの福岡県域の広域的事業、また、大規模災害における準備金(災害義援金、災害ボランティアセンター運営、災害準備金)に活用されています。※P12もご覧ください。

## 協力方法のご紹介

### 戸別募金

お住いの行政区より、ご協力をいただいている募金です。募金の方法は区によって様々で、毎年ご支援をいただいています。

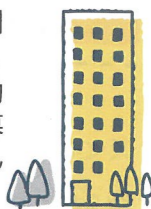


### 街頭募金

令和5年度実施予定日  
● 10月1日(土) 10:45～  
● 10月12日(木) 16:45～  
● 10月23日(月) 16:45～  
市内の駅やスーパーなどで募金の協力をお願いしています。

### 企業(法人)募金

社員の福祉に関する関心を高めるとともに、企業の社会貢献活動の一環として、共同募金への寄付をご提案しております。



### 募金箱募金

企業や商店、医療機関、福祉施設等へ募金箱の設置をお願いします。お客様や利用者の方々へ募金を呼びかけています。



### 職域(カード)募金

企業、団体、官公庁などの職場で、従業員が社会貢献活動の一環として行う募金方法です。



みな様の  
あたたかいご支援・ご協力を  
よろしくお願いいたします



他にも様々な募金方法があります

## 寄付付き商品

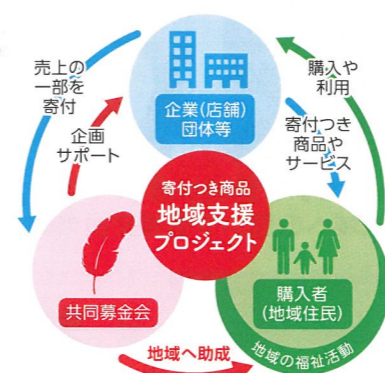
赤い羽根共同募金と協力し、企業の営業・販売活動の中で「寄付付き商品」を開発し、その商品が購入・利用されるごとに、当該商品・サービスの売り上げの一部を共同募金に募金することで福祉活動に貢献することができます。

### 企業のメリット

たくさんの方に企業や商品を周知できます。

### 購入者のメリット

商品を選ぶことで、気軽に、じぶんの町を良くするための様々な活動や大規模災害時の被災地支援に参加できます。



## 共同募金啓発グッズ

クオカード・図書カードは、500円分が金券として使えます

- 赤い羽根クオカード 1,000円
  - 赤い羽根図書カード 1,000円
  - 赤い羽根ボールペン 500円
- 社会福祉協議会事務所で購入することができます。
- ホークスコラボパッチ 500円
- 令和5年度はデザインが変わります

寄付付き商品・企画協力店舗募集中!

問い合わせ先 福岡県共同募金会那珂川市支会(那珂川市社会福祉協議会) TEL 092-952-4565

## 赤い羽根自動販売機

赤い羽根自動販売機を設置することで売上の一部が赤い羽根共同募金に寄付されます。  
※市内各所に設置ご協力いただいています。

### 設置することの4つのメリット

- 1 置くだけでお得! 旧型自販機よりも電気代が安く、置き換えも無料です。
- 2 目に見える地域貢献 設置するだけで社会貢献ができます。
- 3 買って役立つ 売り上げの一部が赤い羽根共同募金へ寄付されます。
- 4 みんなが笑顔に! お寄せいただいた募金は、地域福祉活動に役立てられています。



設置いただいた方には、売り上げの13%～20%が販売手数料として支払われます。設置いただく方の負担は、場所の提供と月々の電気代のみです。自販機は無償貸与、設置に伴う経費も無料です。

# 生活支援体制整備事業

住み慣れた地域で生きがいを持った暮らし「互いに 支え合い 助け合い」

いくつになっても住み慣れた地域で

「ひとり一人が自分らしく のぞむ暮らし」を続けられるように  
市全域を対象とした これからの支え合いを考える情報交換の場

「**か**お見知り**が** **わ**らい**合**い **せ**わし**合**う **み**ん**な**の**輪**」を

7月20日(木) 13:30~15:30開催しました。

地域住民をはじめ地域づくりに関わる関係機関や

団体の皆さま37名の参加がありました。



## 今回のテーマ

### これから地域に必要とされる「支え合いのカタチ」とは

#### 説明・発表



地域づくりのための情報交換の場「協議体」の主な内容、目的、効果について説明があり、その後は5ヶ所の日常生活圏域の情報交換の場に参加されている「地域支え合いメンバー」より、地域への想いや情報交換の場の当日の雰囲気、話し合いのテーマなどについて詳しくお話しいただきました。

#### 交流「助け合いゲーム」



30種類のカードの中から助けてほしい、困っているカードを各自3枚選び、グループ内で助けてくれる人を探しました。助けてもらったカードを渡し「ありがとう」の握手を交わし、笑顔が生まれました。助け合うことは、「ふだんから顔見知りの関係づくり」が必要だと多くの参加者から意見が挙がりました。



「情報交換の場に参加してみたい」「これからの自分の将来や子どもの未来のことが気になる」「自分の暮らす地域をよくしたい」など地域づくりに興味、関心がある方は下記までお気軽にお問合せ下さい。お待ちしております。

問い合わせ先 那珂川市社会福祉協議会 地域福祉係(生活支援コーディネーター) TEL 092-952-4565

# 活動者インタビュー



下梶原区メンズサロン  
福祉委員長 川口 利喜氏

## Q.メンズサロンは、どんな場所?

男性陣で楽しくお喋りを楽しめる居場所です。

下梶原区の70歳以上の男性のみなさんを対象にしています。メンズサロンは今年度からスタートしました。記念すべき第1回は神崎方面までバスハイクを楽しみました。

## Q.活動で工夫していることは?

メンズサロン立ち上げにまでに半年ほどの準備期間を持ちました。区の役員と話し合いをし、役割分担をしながら住民さんのお声を大切にしながら、慌てず、焦らず、ゆっくり「メンズサロン」をすることを住民さんに周知していき、待つ姿勢を心がけました。

## Q.メンズサロン支援者としての魅力は?

今回バスハイクをして、みなさん打ち解けてとても楽しそうにお話をされていて、「企画してよかった」と心から思いました。私自身もとても楽しく、居心地が良かったです。最後に参加者の方から「楽しかった」「また行きたい」とのお声をいただきとても嬉しかったです。

## Q.最後に、一言メッセージをどうぞ。

メンズサロンは発芽したふたばのような状態ですが、住民さんのお声を大切にしながら、1年に1回は何か企画をして活動していきたいと考えています。参加いただいた方から「日帰り温泉」との案もすでに出ています。



令和5年  
6月28日(水)  
第1回 下梶原区  
メンズサロン  
バスハイク  
~神崎方面

## 下梶原区よりご案内

下梶原区ふれあいサロン  
11月8日(水) あじさい健康教室

時間 13:30~15:00

場所 下梶原公民館(那珂川市下梶原1-9-3)

下梶原区子育てサロン  
12月27日(水)

時間 14:00~15:00

場所 下梶原公民館(那珂川市下梶原1-9-3)

料金  
100円  
内容によって  
変更あり

詳細は、社会福祉協議会(092-952-4565)までご連絡ください。

## 福祉委員長とは…

市内の行政区に原則1名。区長が推薦をして、社協会長から委嘱を受けた人で、地域における福祉活動の推進役、いわば「ふくしのまちづくり」を進めていくボランティアです。福祉委員長は、高齢者、障がい者など支援が必要な人たちに対して相談相手になったり、声かけや見守りをしたりする“地域のアンテナ役”また、地域の役員や民生委員、児童委員などの関係者とも協力をしながら地域の生活や福祉課題について早期発見し解決を目指して活動しています。

# 見守り活動について

**！ ご近所さん「気かけ」ポイント**

- 電話**
  - 全く応答がない、つながらない。
- 玄関のベル**
  - 鳴らしても応答がない。
- 自転車や自動車**
  - いつもは出かける時間なのに、そのまま置いてある。
- ゴミ**
  - 決まった日に出ているのに出していない。
- 飼い犬**
  - しきりに吠えている。
  - 衰弱している。
- 異臭**
  - 家から臭いがする。
- 洗濯物**
  - ベランダなどに干しっぱなし。
- 電気**
  - 昼間に付けっぱなし。
- 雨戸、窓、カーテン**
  - 何日も開けっぱなし、または閉めっぱなし。
- 新聞や郵便物など**
  - 何日もたまっている。
  - 乳製品や弁当が配達後、手をつけられずに放置されている。
- 公共料金(電気代など)**
  - 未納・滞納になっている。
- 最近、姿を見かけない**
  - 親しい友人・知人に長期の留守(旅行や入院など)の連絡もない。
  - 仕事や会議・会合に連絡もなく休んでいる。
  - 約束に必ず来る人が時間になってもこない。
  - 行きつけの店で姿を見かけない。(飲食店、コンビニ、商店など)

現在、那珂川市内16地区で見守り活動を実施しています。(879世帯を見守り) 見守り活動は、地区内の組長さんや班長さん、推進委員さん等が、一人暮らし高齢者、高齢世帯等の世帯を訪問し、声かけ訪問、安否確認を行っています。近年多くなっている孤立死。見守り活動で異変に気づき、一命をとりとめられた例もあります。この見守り活動に加え、普段からの人とのつながり、ご近所でのあいさつや声かけも大切です。上記の「気かけポイント」を参考に、ご近所さんがお元気なのか、みなさんが普段の生活の中で「気かけ」を行っていくことで、見守りの輪が広がっていき、住み慣れた地域で暮らし続けることができるのではないのでしょうか。



# 令和5年度 手話奉仕員養成講座 入門編

手話は、聴覚に障がいのある人の大切な「ことば」です。手話を学んでコミュニケーションの世界を広げませんか？

参加費 **3,300円**  
(テキスト代)

- とき** 令和5年10月5日(木)から令和6年3月21日(木)まで 毎週木曜日 19:00~20:30まで(全21日間)  
※ 2月15日(木)、3月28日(木)は予備日の為、お休みです。  
※ 11月23日(木)、12月28日(木)、1月4日(木)は祝日・年末年始の為、お休みです。  
※ 初回講座の10月5日(木)は、開講式開催の為、午後6時50分までにお越し下さい。  
また、10月5日(木)は、開講式19:00~19:20+講義19:20~20:50までとなります。  
筆記用具及びテキスト代3,300円をご持参ください。  
※テキスト代はお釣りがない様をお願いします。
- ところ** 那珂川市福祉センター3階 会議室(西隈1-1-2)  
※11月2日(木)のみ市役所2階第1・2会議室が会場となります。
- 対象** ● 市内在住、勤務・通学する高校生以上の人  
● 講座終了後に市内でボランティア活動をする意思のある人
- 定員** 25名(先着順、定員になり次第締切)  
※8月4日(金)より、電話又はFAXで申込受付。  
※申込締切9月21日(木)



## 場所や内容に応じて、選択・活用する様々なコミュニケーション方法をご紹介します!

### 口話 (発音・発語と読話)

発音・発語指導と読話を用いる方法です。読話とは、相手の話を口の形と動き、表情・文脈等から読み取ることを指します。



### 筆談・要約筆記

文字を書いて伝える方法です。紙がないときは、空間に書いたり(空書)、手のひらに指で書いたりします。話を聞き、書いて伝えることを要約筆記と言います。手書きとパソコンを使う方法があり、チームで要約筆記し、スクリーンに映し出す方法、聴覚障がい者の隣に座りノートに書く・パソコンで伝えるノートテイクの方法があります。

### 手話・手話通訳

手話は、ろう者の集団から生まれ、発展してきた「目で見ることば」です。手話通訳は、音声のことばを聞いて手話に換える「聞き取り通訳」とろう者の手話を見て音声のことばに換える「読み取り通訳」の2つがあります。

(引用)厚生労働省手話奉仕員養成カリキュラム対応 手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」(発行:社会福祉法人 全国手話研修センター、発売:一般社団法人 日本ろうあ連盟)

申込み・問い合わせ先 **那珂川市社会福祉協議会 TEL 092-952-4565**

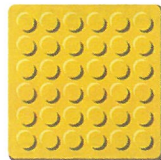
# 街中で見かけたことはありませんか？

歩道や建物の入口、駅などに設置されている黄色のブロック。

見たことはあっても本来の意味をご存知でしょうか。

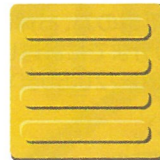
これは「**点字ブロック(視覚障害者誘導ブロック)**」(社会福祉法人日本盲人連合)といって、視覚障がい者の方にとって大切なブロックです。

また、視覚障がいの方が持っている杖は「**白杖(はくじょう)**」といって、こちらも大切な役割があります。



## 警告 ブロック

危険箇所や誘導対象施設等の位置を示すブロックです。点が並んでいる形状をしているため「点状ブロック」とも呼ばれています。これは、注意すべき位置を示すブロックです。階段前、横断歩道前、誘導ブロックが交差する分岐点、駅のホームの端などに設置されています。



## 誘導 ブロック

進行方向を示すブロック。線が並んだ形状をしているため「線状ブロック」とも呼ばれています。視覚障がい者がブロックの突起を足裏、あるいは白杖で確認しながら突起の方向にしたがって進むことができるよう設置されています。



## 白杖 (はくじょう)

目が見えない・見えにくい状態の方が使う杖。よく見えない状態で街中を歩くのは大変なことです。白杖は「自分のまわりの状態や路面の変化などの情報を入手する」「身体の支えとして安全を守る」「視覚障がい者であることを知らせるシンボル」としての役割があります。

街中で白杖を上に向けている方は助けを求めています。積極的に声をかけるなどのご協力をお願いします。



点字ブロックの上に自転車を止めたり、物を置いたままにしたりすると通行の妨げになり、視覚障がい者の方がケガをしたりすることがあります。気がついた時は自転車をよけるなどのご協力をお願いします。



## 那珂川点字の会

視覚障がい者の支援のため、1990年に発足し、点訳活動を行っています。毎週火曜日の定例会では点字の勉強やわいわいおしゃべりしたりとみんなで楽しく活動しています。点字の基本を学ぶことを基礎におき、それを土台として広く市内に「福祉」とともに考える仲間をつくっていくことを目的としています。人と人とのコミュニケーションを大切に、少しでも視覚障がい者の方々のお役にたてればという思いで活動しています。

## ボランティア初心者のための「点字教室」

少人数での体験講座です。点字の会のメンバーと一緒に学んでみませんか？

**とき** 9月26日(火)、10月3日(火)  
いずれも10:00~12:00

**ところ** 那珂川市地域福祉会館2階(那珂川市道善1-23-2)

**対象者** 点字に関心がある人で2日間参加できる方

**締切** 9月20日(水)17:00まで

**内容** 1日目 視覚障がいへの理解(アイマスク・介助体験)  
2日目 点字講習~点字とは?点字の基礎~

**持ってくるもの** 筆記用具

**申込み先** | 那珂川点字の会 TEL 090-3662-6451(森)

参加費  
**無料**  
定員5名

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らせる地域社会を目指して

# 那珂川市 地域包括支援センター

認知症になっても安心して暮らせる社会を

## 9月21日は世界アルツハイマーデー

那珂川市でも認知症地域支援推進員が認知症に関する様々な活動をしています。

1994年「国際アルツハイマー病協会」は世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

認知症地域支援推進員は認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる地域づくりを行う専門家です。地域のみなさんや認知症サポーターの方、医療や介護の専門家など、さまざまな方と連携、協力しながら、認知症になっても安心なまちづくりに取り組んでいます。



## 認知症地域支援推進員の主な活動

- 認知症サポーターの活動支援
- 認知症の普及・啓発
- 認知症に関わる人・機関とのネットワークづくり
- オレンジカフェ活動支援など



## オレンジカフェをご存知ですか？

オレンジカフェは、認知症の人とその家族が気軽に立ち寄れるカフェのことで、地域の人たちとのつながりを作るきっかけができる場所です。そこでは地域の住民、介護や医療の専門家など誰もが参加できる場所として、お茶を飲みながら話し、相談をしながら交流を深めることができます。



オレンジカフェ「りんご」の様子

## 那珂川市のオレンジカフェ

- **オレンジカフェ りんご**  
毎月第3火曜日  
13:30~15:00  
博多南駅前ビル2階  
イベントスペース
- **オレンジカフェ 虹**  
毎月第1・3木曜日  
13:30~15:30  
地域福祉会館2階  
第6会議室
- **オレンジカフェ ひまわり**  
毎月第2・4水曜日  
13:30~15:00  
那珂川北地区公民館和室
- **忘れんぼカフェ**  
毎月第2日曜日  
10:00~12:00  
那珂川福祉会ねむのき  
地域交流スペース
- **オレンジカフェ え〜な〜西隈**  
毎月第1土曜日(変動あり)  
10:00~12:00  
西隈公民館
- **ノムさんカフェ**  
毎月第1土曜日  
10:00~12:00  
松原2-10  
エバーライフパセオ内

ご相談・問い合わせは下記の地域包括支援センターまでご連絡ください。

### 第1地域包括支援センター

TEL 092-408-9886 (西隈1-1-1市役所第2別館1階)

担当行政区 南畑地区、安徳地区、  
岩戸地区のうち、西畑・別所・井尻・山田・西隈・後野

### 第2地域包括支援センター

TEL 092-951-1600 (片縄北4-2-20大神第3ビル1階)

担当行政区 片縄地区、岩戸地区のうち、恵子・道善

相談日時 毎週月曜日から金曜日 8:30~17:00 毎月第3土曜日 8:30~17:00

# ご寄付ありがとうございます

地域福祉のために役立てさせていただきます。(順不同：令和5年6月10日～令和5年7月31日まで)

## 一般寄付金 団体・個人の善意によるご寄付

- デイリーサポート(株)様  
100,000円(6月30日)
- 倉光 孝一様  
6,000円(6月16日、7月18日)



社会福祉協議会では、「だれもが安心して住み続けられるぬくもりのある福祉の地域づくり」を目指して、いろいろな地域福祉活動を推進する上で、みなさまからの善意のご寄付は貴重な財源となっています。

## 9月・10月の心配ごと相談

日常生活上の困りごとの相談を受け付けています。どこに相談したらいいかわからない方、まずは、相談してみませんか。(関係書類等あればお持ちください。)

※原則、弁護士相談は1人1回までです。同じ内容の相談を何度も受けることはできません。

### 弁護士相談・心配ごと相談

- 9月6日(水)、13日(水)、20日(水)
- 10月4日(水)、11日(水)、18日(水)
- 時間 全て13:00～15:00
- 申込み 要予約・その週の月曜日から電話受付
- 対象者 市内在住・在勤
- 定員 4名 ※定員になり次第締切

### 行政相談・心配ごと相談

- 9月27日(水)
- 10月25日(水)
- 時間 全て13:00～15:00
- 申込み 不要
- 対象者 市内在住・在勤



### 問い合わせ先

那珂川市社会福祉協議会 TEL 092-952-4565

## 福岡県 令和5年7月 豪雨災害義援金

福岡県共同募金会では「福岡県令和5年7月豪雨災害義援金」について募集をしています。ご支援よろしくお願いたします。

受付期間 令和5年7月18日(火)～令和6年3月29日(金)

詳細は福岡県共同募金会ホームページをご覧ください。

<https://fukuoka-kyoubo.jp/>

## 〈広告〉 介護保険・障がい福祉サービス事業所のご案内

那珂川市社会福祉協議会では、介護保険、障がい福祉に関する各種事業所の運営を行っています。詳しい内容については各事業所にお問い合わせください。

### デイサービス

那珂川市社会福祉協議会  
指定通所介護事業所  
パートタイム  
①看護師 ②介護福祉士  
募集しています。

TEL 092-952-0883

### 介護保険サービスの相談等

那珂川市  
社会福祉協議会  
指定居宅介護支援事業所



TEL 092-951-1440

### ホームヘルプ

那珂川市社会福祉協議会  
指定訪問介護・居宅介護事業所  
パートタイム  
①ホームヘルパー  
募集しています。

TEL 092-951-1270

### 障がい福祉サービスの相談等

那珂川市  
社会福祉協議会  
相談支援事業所



TEL 092-951-1440

社協だよりあなたの事業所、団体等の広告を載せてみませんか?  
掲載の時期やご相談等は、社会福祉協議会事務局 (TEL 092-952-4565) までご連絡ください。

## 第19回 地域福祉を考えるつどい 開催!

### 講演 ケアラー(家族介護者)が孤立しないために ～今、私たちが地域でできること～

参加費  
無料

こころやからだに不調のある人の介護、看病、療育、世話、気づかいなど、ケアの必要な家族や近親者、友人、知人などの介護や援助を行う「ケアラー」。家族から頼りにされる一方で、周囲に悩みを打ち明けられず、心身に負担を抱えている場合があります。近年、少子高齢化や核家族化の進展、共働きの増加、家庭の経済状況の変化といった要因の中、「老々介護」「ヤングケアラー」「きょうだい児」などそれぞれの暮らしにおいて、ケアラーの方に大きな負担がかかっています。今回は、ケアラー(家族等の介護)の視点に目を向け、地域でできることを一緒に考えていきましょう。

日時 令和5年9月10日(日)  
13:30～15:30

場所 ミリカローデン那珂川  
2階多目的室

内容 1部 講演  
2部 グループワーク  
「私たちが地域で  
できることを考える」

講師 特定非営利活動法人  
介護者サポートネット  
ワークセンター・アラジン  
理事長 牧野 史子氏



託児あり 申込必要  
● 託児料500円 ● 先着5名  
● 託児お切り 9月4日(月)

### 申込み・問い合わせ先

那珂川市社会福祉協議会地域福祉係 TEL 092-952-4565

## 笑って健康づくり

参加費  
無料

運動や講話、みんなで楽しみながら健康になりましょう!どなたでも参加できます。飲み物や筆記用具など各自でご準備下さい。感染予防の為受付時に検温と消毒をお願いしています。

### 10月・11月の予定 各講座とも申し込みが必要です。9月4日(月)から受付開始

時間 13:00～14:00(集合時間12:50)  
※各内容定員を設けています。(定員は内容によって異なります)

場所 那珂川市福祉センター3階

キャンセルの場合は  
必ずご連絡ください

10月5日(木) 定員 20名

内容 日向ひよつとこ踊り  
博多愛好会一座  
～皆で楽しく  
体験しましょう!～

講師 会長 八藤丸 彰氏

10月19日(木) 定員 20名

内容 大切な人を守るために  
～応急手当、窒息、AED  
の基本を学ぼう!～

講師 春日・大野城・那珂川消防署  
※修了証の発行はありません  
※緊急時には講話中止の可能性あります

11月2日(木) 定員 20名

内容 チェアズンパ  
～世界の音楽に  
合わせて楽しもう!～

講師 インストラクター  
鶴 良子氏

11月16日(木) 定員 30名

内容 やさしい介護  
講師 那珂川病院  
リハビリテーション課  
作業療法士  
木村 幸太氏

### 申込み・問い合わせ先

那珂川市社会福祉協議会 TEL 092-952-4565

※申し込みは本人に限ります。  
※内容は変更になる場合があります。

## 福祉センター「にこにこ」からのお知らせ

### おしゃべり広場 ベビーマッサージ体験

入館料  
親子1組  
100円

日時 9月14日(木) 10:30～12:30  
(受付①10:15～、②11:15～)  
①10:30～11:30 5ヶ月頃まで  
②11:30～12:30 6ヶ月～2歳

場所 福祉センター  
「にこにこ」2階

定員 ①②ともに親子8組  
(申込時に①か②をお伝えください)

持ち物 バスタオル、保護者と赤ちゃんの水分補給、いつものお出かけセット

申込み 実施日の1ヶ月前から予約受付  
福祉センター(那珂川市社会福祉協議会) TEL 092-952-4565

### おしゃべり広場 音遊び

入館料  
親子1組  
100円

日時 10月12日(木)  
10:30～11:30(受付10:15～)

場所 福祉センター「にこにこ」2階

定員 親子15組程度  
申込み 実施日の1ヶ月前から予約受付  
福祉センター(那珂川市社会福祉協議会)  
TEL 092-952-4565

# 那珂川市災害ボランティアセンターを立ち上げました

令和5年7月7日(金)から7月10日(月)にかけて降った大雨の影響で、那珂川市内の家屋等に浸水による被害がありました。那珂川市社会福祉協議会では7月11日(火)に災害ボランティアセンターを設置し、1日でも早く元の生活に戻れるよう、ボランティアのみなさんと一緒に泥のかき出し、災害ゴミの搬出などの支援活動を行いました。

## 災害ボランティアセンターの役割

「災害ボランティアセンター」とは、災害時に被災者・被災地の支援を目的として設置される組織です。被災者のニーズの把握やボランティアの受け入れ・調整、情報の提供、行政・地域との連携などを行い、ボランティア活動を円滑に進めるための拠点となります。ボランティアセンターは、被災者・被災地を主体とし、地域の復興につなげていくことを目指しています。

災害ボランティアセンター運営は、みなさまからご協力いただいた赤い羽根共同募金を財源としています。

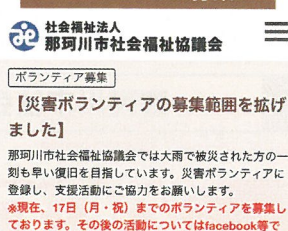
災害VC立上げ



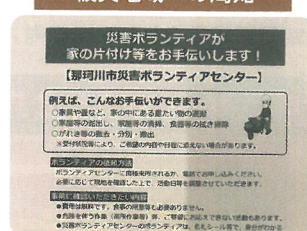
ニーズ調査(現地確認)



ボランティア募集

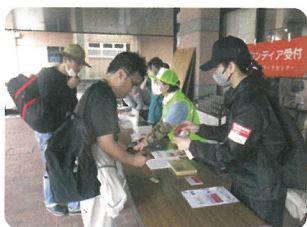


被災地域への周知



自宅も被災しているのにご近所さんを気にかけたり、“ご近所さんと一緒に協力して泥だしなどするから大丈夫よ”と言われる方もいました。地域の自助・互助の力を感しました。

## 活動の様子 7月15日(土)～7月17日(月)、7月23日(日)、7月30日(日)



受付

那珂川市防災士会のみなさまにもご協力いただきました。



オリエンテーション

ボランティア活動をするにあたっての注意事項などを説明



マッチング

支援に入る家の状況や活動内容を説明



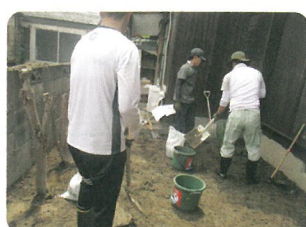
資機材の確認



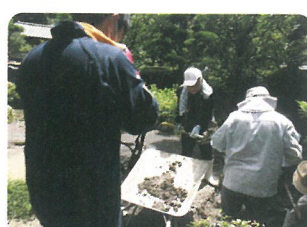
活動の様子1



活動の様子2



活動の様子3



活動の様子4

## たくさんの地域の方々にご支援いただきました



王塚台区様  
カレーの炊出し



婦人会様  
かしわおにぎりの炊出し



自衛隊協力会様  
飲料水



Fコープ様  
氷・飴・飲料水・ゼリー



写真洗浄あらいぐま様  
飲料水

その他、タオルや経口補水液などのご支援もいただきました。

センター運営においてご支援、ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

